

「まあとにかく水こねではしょうがねえがら、水とり人足さ行くべえ」
つうごどんなって、村中で水とり人足さ出がげだだど。

して行つて見たら堰のどごさ太いぶん糞が引つかがつ
てで水ぴたつと止めで、水ひとつも来ねぐなつてだだど。

「あつ、これでこれ水こねだわい」

つうので、今度皆で鍬なのヨギなの持つてつて、その太い
ぶん糞をぶつこおしてやつとお流しただど。したその年
の秋はまあ米が豊作になつて、いっぺえ取つちやだど。

そんじえ万歳師が来つと豊作になるつうだだど。

ざつと昔栄えだ。

福島県教育委員会編

『ふくしまの昔話と伝説』から転載

